

神田小の誇りは「明るい笑顔」と「元気なあいさつ」：すべては神田の子の「希望をはぐくむために」



学校だより

No. 1 さいたま市立神田小学校
令和7年4月8日 発行 Tel (853) 4377
URL: <http://jinde-e.saitama-city.ed.jp/>



公教育の役割

校長 中村 誠

お子様の御入学および御進級おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。本校は、69名の新入生を迎え、児童398名、15学級で令和7年度がスタートしました。たくさんの出会いと希望の中で、「神田小の誇りは明るい笑顔と元気なあいさつ」「すべては神田の子の希望をはぐくむために」を合言葉に、元気よく進んでいきたいと思えます。令和7年度も、引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

さて、私は過去に「公教育は行政サービス」との指摘を受けたことがあります。確かに社会のシステムとして考えると、授業料を払わないで学校へ行くことは行政が行うサービスと捉えられても仕方ないかと言えます。しかし、教育をサービスと考えてよいのでしょうか。私は、当時そこに違和感を覚えました。そして、このご指摘を受けて以来「公教育の役割とは何だろうか」と常に考えるようになりました。

教育の大きな目的とは、子どもたちが、これからの社会の形成者として人格の完成をめざすことであると考えています。この大きな目的を達成するために、公教育では、地域の実情や要望を把握し、そこから学校教育目標を立て、子どもたちの健全な育成に取り組んでいきます。本校においても「人間性豊かで21世紀をたくましく生きる神田の子」という学校教育目標を立て、これまで進んできました。そして、これからもこの学校教育目標を柱に進んでいく決意です。この目標は、私たち教職員が提供するサービスだけでは決して達成できるものではありません。保護者の皆様、地域の皆様との「協働」が必要であると考えています。私たち教職員は、未来の宝である子どもたちのために、学校教育目標を達成すべく保護者・地域の皆様と協働して進むことができるよう、先導する役割として不断の努力をしております。

保護者・地域の皆様におかれましては、これからも多大なる御支援と御理解・御協力の程をお願い申し上げます。

学校教育目標

人間性豊かで21世紀をたくましく生きる神田の子

かしく

たくましく

あたたかく

○育てたい子どもの姿

<かしく> 未来に向かって新たな発想を見出し、当事者となって取り組むことができる子

<たくましく> どんなことにも粘り強く、時には臨機応変に物事に立ち向かえる子

<あたたかく> 同じ目的に向かって「よい関係」を築き、あたたかい心で人に接することができる子

チャン

ス

チャ

レンジ

チェ

ンジ

「Chance にChallengeしてChangeする子」